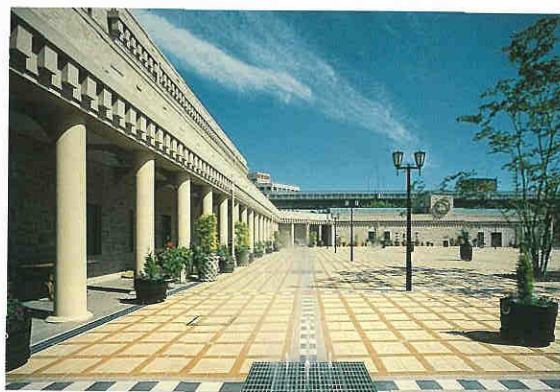




館内に展示されている多彩なラン



市民愛好家による展示作業



近世ヨーロッパの邸宅をイメージした建造物

DATA・BOARD 17

- ①愛知県名古屋市中区大須4-4-1
- ②面積：約16,000㎡、建物延床面積：2,375㎡
- ③名古屋市営地下鉄名城線矢場町駅から徒歩3分
- ④名古屋城、名古屋市美術館、大須観音、徳川美術館、鶴舞公園
- ⑤百花繚蘭、真夏の宵祭り、秋爛漫・冬物語



17 ランの館



名古屋市では、中区大須地区の都市公園を再整備するにあたり、都心部のオアシスとなるような施設をめざし、夢・楽しさ・ロマンチックをキーワードに、多くの人々が関心を寄せている花づくりやガーデニングに趣を置いた交流施設づくりを進めてきた。また、愛知県がランの生産量が日本一であることから、ランを施設の柱としている。

「ランの館」は、イメージストーリーに沿って近世ヨーロッパの邸宅をイメージした設計を行っている。施設内は環境に配慮し、隣接する下水道処理施設で発生するエネルギーにより冷暖房を行っているほか、散水や池に使用する水についても下水道処理水を活用している。

施設の運営は、ボランティア組織により登録されたフレンドリースタッフが館内案内や園芸圖書の管理、来館者のための園芸相談等を行っている。また、ランや花木の展示、飾り付けなどについても愛好家グループの協力により行われている。

ガーデニングや草花に関するイベントや講座も開催されているほか、音楽会等も開かれている。こうしたイベントも市民の手により運営されている。多くの人が関心を寄せる花木を核にしたこの施設は、訪れる人々を楽しませるだけでなく、多彩な市民交流の場として活用されている。